

(一社) インドネシア教育振興会

学び愛インドネシア・ごみ銀行とコンポストの活用と普及

活動地域



課題

ごみ銀行が誕生し、全国的に広がりを見せているが、未だに利用者は一部の住民に限られている。またごみからリサイクル品を作っているが新たな問題を引き起こしている。

目標

南タンゲラン市の市民の行動が環境志向型となり、同市が環境モデル都市に変貌する。



今後の展望

中学校で使用する「ごみ銀行の活用とコンポスト製作方法」の教本であるため、もう少し取材を進めるほか、教育大学との連携を深め興味関心が高く使いやすい教本の作成を進める。

ひろげる助成
2年目
知識の提供・普及啓発

SDGsリーダー合宿

48人

環境理解イベント

300人

今年度計画の達成度

95%

目標達成度

70%

活動内容と成果

生徒・市民向けにごみ分別への理解を浸透させ、またコンポスト製作とごみ銀行の利用を促進し、自立的な環境保全体制を構築するため、中学校でごみ銀行の活用とコンポスト製作方法を教える。そこで使用する教本を開発し配布、指導を行う。本年度は、環境マルチステークホルダー委員会と共同でごみの分別や再利用等の取組みをまとめ、同市中学生自身で考え・行動することを促すために教本を作成し、コンポストキットを10校に配布した。また、48人参加したSDGsリーダー合宿では、環境保全の大切さへの理解を深めることができた。



苦労した点と工夫した点

苦労した点

行政との協働事業の際、日程調整が大変難しく直前にならないと決まらない。いくつかのプランを準備しておく必要がある。

工夫した点

多くの人に活動やイベントを理解してもらうために、SNSで積極的にライブ配信をした。



〒930-1313

富山県富山市中淹142-9

E-mail : sb930jp@yahoo.co.jp

HP : http://www.baliwind.com/